

利用負担金表（R7.4.1～）

令和7年4月1日 施行

別表 1

コース	区 分	内 容	負 担 金
一般利用コース	基本サービス (基本負担金)	大型計算機システム利用申請時の利用者登録において 1件につき ただし、学生において 1件につき	年額 12,000 円 年額 2,000 円
	付加サービス (追加負担金)	スーパーコンピュータ利用によるバッチ処理において	
	スーパーコンピュータシステム	共用コース（演算） CPU ノード C1 コース : 演算時間 1,000,000 秒まで C2 コース : 演算時間 18,000,000 秒まで GPU ノード G1 コース : 演算時間 312,500 秒まで G2 コース : 演算時間 5,625,000 秒まで	年額 10,000 円 年額 87,500 円 年額 10,000 円 年額 87,500 円
		占有コース（演算およびスパコンストレージ） CPU ノード CPU ソケット 1 基（4TB の work 領域を含む）につき GPU ノード GPU カード 1 基（4TB の work 領域を含む）につき	年額 120,000 円 年額 384,000 円
		スパコンストレージ home 領域 1TB につき work 領域 4TB につき (いずれも年度内利用に限る)	年額 20,000 円 年額 30,000 円
	研究クラウドシステム	共用クラスタ利用において CPU 1 コアにつき GPU 1 基につき 占有クラスタ利用において ノード 1 台につき GPU 1 基につき 永続ボリューム利用において 1TB につき (いずれも年度内利用に限る)	月額 400 円 年額 4,800 円 月額 28,000 円 年額 336,000 円 月額 24,000 円 年額 288,000 円 月額 28,000 円 年額 336,000 円 月額 800 円 年額 9,600 円

	クラウド ストレージ	クラウドストレージ利用において 1TB につき (いずれも年度内利用に限る)	月額 800 円 年額 9,600 円
	出力	大判カラープリント 普通紙 1 枚につき 光沢紙 1 枚につき クロス 1 枚につき	432 円 1,188 円 3,996 円

備考

- 一般利用コースにおいて利用できる大型計算機システムは、スーパーコンピュータ、アプリケーションサーバ、スパコンストレージ、研究クラウド（共用クラスタ、占有クラスタ）、クラウドストレージ及び大判プリンタとする。
- 基本負担金による基本サービスにおいては、以下のサービスを利用することができる。
スーパーコンピュータサービス
 - アプリケーションサーバの利用
 - home 領域（スパコンストレージ）
 クラウドサービス
 - Jupyter 計算環境の利用
 - クラウドストレージ
- 公募制度による基本サービスにおいては、以下のサービスを利用することができる。
スーパーコンピュータサービス
 - home 領域（スパコンストレージ）
 クラウドサービス
 - Jupyter 計算環境の利用
 - クラウドストレージ
- 基本サービスに係る経費の負担において、学生の適用となるものは学校教育法における「学生」とし、「学生証」写しの提出をもって適用とする。その他の適用については、センター長が特に認めたものとする。
- スーパーコンピュータの共用コースの CPU ノード利用において、演算時間の算出方法は利用 CPU ソケット数に経過時間（秒）を乗じて計算するものとする。
- スーパーコンピュータの共用コースの GPU ノード利用において、演算時間の算出方法は利用 GPU カード数に経過時間（秒）を乗じて計算するものとする。
- スーパーコンピュータの占有コースの CPU ノード申請において、CPU ソケット 2 基以上を利用する場合は 2 の倍数（ノード占有）のみ受け付ける。
- スーパーコンピュータの占有コースの GPU ノード申請において、GPU カード 4 基以上を利用する場合は 4 の倍数（ノード占有）のみ受け付ける。
- スーパーコンピュータの占有コースの利用は、申請後の承認日から年度末までの利用とする。また、承認日に応じて次のとおりの利用負担金とする。
 - 7 月～9 月の場合、利用負担金額の 75%とする。
 - 10 月～12 月の場合、利用負担金額の 50%とする。
 - 翌年 1 月～3 月の場合、利用負担金額の 25%とする。
- スーパーコンピュータシステムの付加サービス（占有コース等）は、研究グループでの共同利用ができるものとする。研究グループの構成メンバーは、大型計算機システムの利用者の中から、付加サービスの申請者が指定する。
- 研究クラウドにおける構成は、以下のとおりである。
 - CPU 1 コアあたり
仮想コア数 1、メモリ 2GB
- 研究クラウドにおいて、GPU をハードウェア分割して提供する場合には、その分割割合で利用負担金を按分する。

別表 2

コース	区 分	内 容	負 担 金
民間企業等利用コース（成果公表）	基本サービス （基本負担金）	大型計算機システム利用申請時の利用者登録において 1 件につき	年額 12,000 円
	付加サービス （追加負担金）	スーパーコンピュータシステム 共用コース（演算） CPU ノード C1 コース：演算時間 1,000,000 秒まで C2 コース：演算時間 18,000,000 秒まで GPU ノード G1 コース：演算時間 312,500 秒まで G2 コース：演算時間 5,625,000 秒まで 占有コース（演算およびスパコンストレージ） CPU ノード CPU ソケット 1 基（4TB の work 領域を含む）につき GPU ノード GPU カード 1 基（4TB の work 領域を含む）につき スパコンストレージ home 領域 1TB につき work 領域 4TB につき （いずれも年度内利用に限る）	年額 20,000 円 年額 175,000 円 年額 20,000 円 年額 175,000 円 年額 240,000 円 年額 768,000 円 年額 40,000 円 年額 60,000 円
	クラウド ストレージ	クラウドストレージ利用において 1TB につき （いずれも年度内利用に限る）	月額 1,600 円 年額 19,200 円

備考

- 民間企業等利用コース（成果公表）において利用できる大型計算機システムは、スーパーコンピュータ、スパコンストレージ及びクラウドストレージとする。
- 基本サービスにおいては、以下のサービスを利用することができる。
スーパーコンピュータサービス
1) home 領域（スパコンストレージ）
クラウドサービス
1) クラウドストレージ
- スーパーコンピュータの共用コースの CPU ノード利用において、演算時間の算出方法は利用 CPU ソケット数に経過時間（秒）を乗じて計算するものとする。
- スーパーコンピュータの共用コースの GPU ノード利用において、演算時間の算出方法は利用 GPU カード数に経過時間（秒）を乗じて計算するものとする。
- スーパーコンピュータの占有コースの CPU ノード申請において、CPU ソケット 2 基以上を利用する場合は 2 の倍数（ノード占有）のみ受け付ける。
- スーパーコンピュータの占有コースの GPU ノード申請において、GPU カード 4 基以上を利用する場合は 4 の倍数（ノード占有）のみ受け付ける。
- スーパーコンピュータの占有コース利用は、申請後の承認日から年度末までの利用とする。また、承認日に応じて次のとおりの利用負担金とする。
1) 7 月～9 月の場合、利用負担金額の 75% とする。

- 2) 10月～12月の場合、利用負担金額の50%とする。
 - 3) 翌年1月～3月の場合、利用負担金額の25%とする。
8. スーパーコンピュータシステムの付加サービス（占有コース等）は、研究グループでの共同利用ができるものとする。研究グループの構成メンバーは、大型計算機システムの利用者の中から、付加サービスの申請者が指定する。

別表 3

コース	区 分	内 容	負 担 金
民間企業等利用コース（成果非公表）	基本サービス （基本負担金）	大型計算機システム利用申請時の利用者登録において 1 件につき	年額 12,000 円
	付加サービス （追加負担金）	スーパーコンピュータシステム CPU ノード C1 コース : 演算時間 1,000,000 秒まで C2 コース : 演算時間 18,000,000 秒まで GPU ノード G1 コース : 演算時間 312,500 秒まで G2 コース : 演算時間 5,625,000 秒まで 占有コース（演算およびスパコンストレージ） CPU ノード CPU ソケット 1 基（4TB の work 領域を含む）につき GPU ノード GPU カード 1 基（4TB の work 領域を含む）につき スパコンストレージ home 領域 1 T Bにつき work 領域 4 T Bにつき （いずれも年度内利用に限る）	年額 40,000 円 年額 350,000 円 年額 40,000 円 年額 350,000 円 年額 480,000 円 年額 1,536,000 円 年額 80,000 円 年額 120,000 円
	クラウド ストレージ	クラウドストレージ利用において 1 T Bにつき （いずれも年度内利用に限る）	月額 3,200 円 年額 38,400 円

備考

- 民間企業等利用コース（成果非公表）において利用できる大型計算機システムは、スーパーコンピュータ、スパコンストレージ及びクラウドストレージとする。
- 基本サービスにおいては、以下のサービスを利用することができる。
スーパーコンピュータサービス
1) home 領域（スパコンストレージ）
クラウドサービス
1) クラウドストレージ
- スーパーコンピュータの共用コースの CPU ノード利用において、演算時間の算出方法は利用 CPU ソケット数に経過時間（秒）を乗じて計算するものとする。
- スーパーコンピュータの共用コースの GPU ノード利用において、演算時間の算出方法は利用 GPU カード数に経過時間（秒）を乗じて計算するものとする。
- スーパーコンピュータの占有コースの CPU ノード申請において、CPU ソケット 2 基以上を利用する場合は 2 の倍数（ノード占有）のみ受け付ける。
- スーパーコンピュータの占有コースの GPU ノード申請において、GPU カード 4 基以上を利用する場合は 4 の倍数（ノード占有）のみ受け付ける。
- スーパーコンピュータの占有コース利用は、申請後の承認日から年度末までの利用とする。また、承認日に応じて次のとおりの利用負担金とする。
1) 7 月～9 月の場合、利用負担金額の 75% とする。

- 2) 10月～12月の場合、利用負担金額の50%とする。
 - 3) 翌年1月～3月の場合、利用負担金額の25%とする。
8. スーパーコンピュータシステムの付加サービス（占有コース等）は、研究グループでの共同利用ができるものとする。研究グループの構成メンバーは、大型計算機システムの利用者の中から、付加サービスの申請者が指定する。